

報告 PTA一日研修

11月11日(日) [参加者57名]
ランチbuffetと劇団四季「ノートルダムの鐘」鑑賞



私のミュージカルデビュー

杉浦 修二さん(2年保護者)

11月11日PTA一日研修に参加させていただきました。今回は劇団四季「ノートルダムの鐘」の観劇があり、私のミュージカルデビューとなりました。観劇前にストリングスホテル名古屋にておいしいランチをいただき、いざ名古屋四季劇場へ。劇が始まると演者の響き渡る声量、研ぎ澄まされた演技、そして美しいエスメラスダ(主人公のヒロイン)。どれも心を打ちました。

気づいたらカーテンコール。あっという間の2時間半でしたが、初観劇の私でも十分に引き込まれる内容、演技でした。今回、初観劇という機会を作ってくださいました一日研修に感謝し、次回も参加したいと思いました。

研修旅行を通じて

渡邊 義光さん(1年保護者)

今年の研修旅行のコンセプトは、「一人でも多くの参加者を」ということで、6月の京都研修に次いで、ランチbuffetと劇団四季の鑑賞とお供させていただきました。流石の劇団四季だと感じ、よい思い出ができました。

下の娘は今年一年生。5つ年上の姉もまた安城学園に通わせていただきましたが、姉が在学中は下の娘はまだ小学生で研修旅行には参加できませんでした。研修旅行は、学校と保護者の繋がりを作り、子どもの安心材料にもなり、保護者同士も繋がって心配事を共に分かち合える関係もでき、子どもの成長を安心して話し合える場なのだと感じました。今後もまた参加したいと思える研修旅行になりました。



報告 愛知県私学振興推進大会

10月9日(火) 日本特殊陶業市民会館

PTA副会長の倉洋子さんが、愛知私学の保護者を代表してスピーチをされましたので、一部を抜粋してお伝えさせていただきます。

保護者の願い

倉 洋子さん(3年保護者)

我が子のことになりませんが、娘は幼少の頃からスポーツライミングをやっており、中学3年の夏休みに学校見学に行き、先輩の優しさに触れ、部活動に励む先輩たちの姿を見て安城学園高校への進学を決めました。マイナースポーツであり、練習施設も必要なことから、なかなか部活動がありません。しかし、勉学に励みながらこれまで通り練習ができるよう対応していただき、この3年間で力を付け成長することができました。

娘が私立高校に通い、自分もPTAなどで行事に関わるようになると、文化部や生徒会などでも活躍の場を見つけて頑張っている生徒がたくさんいることにも気づきました。安城学園高校では、東日本の震災以降、東北へのボランティア活動を続けています。昨年、ひまわりを育て、種を福島に送り、「復興のシンボル」としてひまわりを植えようという「福島ひまわり里親プロジェクト」に関わり、今年からは生徒会として取り組んでいます。東北を忘れず、ここから多くを学ぼうとする様子、社会とかかわり視野を広げていく生徒たちの姿に頼もしさを感じました。

この取り組みについて語ってくれた生徒は、母子家庭で3人姉妹。姉は自分と妹のために大学進学をあきらめた。そのことに最初は負い目を感じたがそれではだめだと、自分の選んだ道を頑張りたいと話してくれました。私立学校では、独自の建学の精神に基づく個性・多様性のある教育がなされています。この教育活動は、生徒たちをこれからの社会を担う大人へと育てることにつながっています。私立学校の教育条件の維持・向上、保護者負担の軽減等を図るために、経常費補助、授業料軽減補助および入学金の補助金の充実等に大変ご配慮をいただいておりますが、すべての子どもたちが学びたい学校を自由に選択し、安心して学校生活を送れるよう更なるご支援をいただきたく存じます。

私立学校の振興と発展を願う私たち保護者の切なる想いをぜひ受け止めていただき、これからの愛知県と日本の未来を担っていく子どもたちのためになお一層のお力添えを賜りますよう、心からお願い申し上げます。



感謝と感動を胸に
精一杯の活動を



PTA副会長

倉 洋子

日頃はPTA活動へのご理解・ご協力をいただきありがとうございます。ありがとうございます。

春と秋の一日研修では、観劇とおいしい食事を共にして親睦を深めることができました。学園祭では、ケーキ作りやクラフト作品の製作に人の力の大きさを実感し、感謝の気持ちでいっぱいです。

子どもたちに目を向けると、運動部の活躍はもちろんのこと、会えば挨拶をしてくれ、学園祭やオータムフェスなどの行事に向け、自分たちで考え、行動し、真剣に取り組む姿に成長を感じ、何度も感動させられました。

今年度の活動も残りわずかとなりました。限られた時間ではありますが、精一杯務めてまいります。



学園祭を終えて

多くの皆さんが笑顔で大活躍中!

PTA 活動レポート!

保護者の皆さんの出会いと活躍の場として、
多彩な行事を設けています。
生徒たちと、学校と、そして保護者同士の
交流を深めながら、
多くの経験を共有しましょう。

TEAM AIMERO
-Season2-
近藤 和佳子さん
2年学年PTA



最高の仲間
笹原 史映さん
学校PTA (3年)

まだ先、まだ先と思っていた1、2年生の頃。あっという間に3年生になってしまいました。
私たち3年生は少ない人数でのスタートだったので、不安しかありませんでした。毎年作っている定番の物だけでなく、新しい商品を考えて家で試作をし、商品として売れるまでの物に完成させるという作業を、五役・リーダーは仕事や家事をこなしながら何ヶ月も続けてくれました。
その結果、1、2年生の協力もあって大成功で終わることができました。本当に感謝しかありません。そしていつもやさしくて楽しいこのメンバーの一員になれたことを幸せに思います。最高の仲間と最高の時間を過ごすことができました。



最後の学園祭
木村 美雪さん
3年学年PTA

入学してからあっという間の3年間でした。最後の学園祭ということもあり、今年は皆に楽しんでもらえるように計画しました。飾り付けや準備など、いつもできる人ができることを協力してくれ、当日も皆がサツと動いてくれたので、スムーズに学園祭を終えることができました!
3年間、たくさんの先生方や仲間の協力のおかげで、すべてを無事に終えることができ、仲間と最高の体験と思い出ができました。そのおかげで仲間と絆ができて、感謝の気持ちでいっぱいです。

「ありがとう」初めての学園祭
前田 十六子さん
1年学年PTA

何もかも初めてのことでしたが、役員会での話し合い、試食会を経て、Tシャツを揃える話題が出る頃には皆さんとの距離が近くなっていました。飾り作りも楽しくできついに迎えた学園祭。台風の影響で激しい雨でしたが、流石高校生の親、子育てのプロ、手際も段取りもよくスムーズに進みました。国産肉味噌うどんも即完売、ゼリーも寒い中完売。「肉味噌うどん食べたかったなー」の声を聞き、好評だったと改めて感じました。

学園祭に参加したことで子どもたちの学校での様子がよくわかり、役員会で学校に行く度に先生や父母の皆さんとの交流もできました。皆さんに感謝です!



昨年、予想以上のご好評と反響をいただいたメロンパンアイスとドライカレー。今年は満を持しての増量で挑みましたが、学園祭当日は雨。気温も上がらずに苦戦。残念ながら完売には至りませんでしたが、お客さんを呼び込みに奔走したり、明るく元気に声を張って盛り上げようとする仲間の姿が今まで以上に頼もしく、また誇らしく感じられました。今年からの仲間も加わり、準備期間から当日まで皆で楽しく意見を出して協力し合え、とても楽しく充実した時間でした。
来年はいよいよ3年生。皆で作った「TEAM♡AIMELO」の集大成に向けて、これからも楽しさには貪欲に進んでまいります。